



KURIDA INTERNATIONAL

経済の終焉と新しい世界

黒田インターナショナルコンサルティング

黒田 毅

新世界秩序の基づく、世界の経済システムはその搾取構造を有するのである。それらが新規マネーシステムと経済システムの構築を模索していることは真実である。

これらは経済の安全保障という先端産業の囲い込みとともに、経済圏の構築と正義のもと世界大戦を求めるのである。

これら現実のもと既存の経済システムの崩壊は必ず予測されるものである。しかし既存の産業基盤は、新しい経済システムのもと未来を模索することは可能であると考ええる。

これらはアベノミクスにおける日本産業の放棄でなく、正しい倫理的基盤における経済システムを提案することで、世界における全ての疑念へ、公正なルールにおける新しい経済環境の構築を提案できるのである。

これらは2分化する現実が双方において大きな矛盾を有することへ、公正な経済構築へ正論において、新しい現実の提案を実現できるのである。

これらはアングロサクソンミッションには日本は決して参加できないことを理解すべきである。

これらにおいてこそ、経済の安全保障が確立できるのであり、新しいビジョンへの参加は大多数における世界の国家の参加を求めることは可能であると考ええる。

これらは資本の上納システムという新しい経済システムの構築へ、経済がライフラインの守るものであり、未来という新しい現実の創造を実現できることを留意すべきである。

現在は明らかに分岐点であり、全ての国家が選択に対峙しているのである。

それら現実へ独自ビジョンを提出することは、全ての矛盾お解決へ公正な経済ルールの提案を実現できるのである。